

令和3年度 第2回国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の施設整備検討小委員会 議事概要	
開催日時	令和3年11月25日(木) 14:00~16:00
場 所	長野市役所第二庁舎 会議室 203
出席者	[委 員] 小山委員長、堀江副委員長、岡本委員、桐澤委員、倉田委員、古後委員、 下崎委員、正村委員、徳永委員、丸山委員 [事務局(公共施設マネジメント推進課)] 中村公有財産活用局長、柳澤課長、長谷川課長補佐、山岸課長補佐 白澤主査 [スポーツ課] 駒村主幹、高池課長補佐、廣瀬係長、久米田主事
議 事	(1) 会議の公開・非公開について (2) 施設整備について

【次 第】

- 1 開 会
- 2 局長あいさつ
- 3 委員長及び副委員長の選出
- 4 正副委員長あいさつ
- 5 議 事

【審議事項】

- (1) 会議の公開・非公開について
 - (2) 施設整備について
- 6 閉 会

【議事における主な意見】

- (1) 会議の公開・非公開について
 - 非公開とするには市民が納得する理由が必要。
- (2) 施設整備について
 - 国スポのために整備するというのではなく、この国体を機に今後もスポーツ振興に寄与していくために必要な整備だというスタンスが必要である。
 - 大会開催を市民に納得してもらうため、開催の意義や経済効果の面を明らかにしたほうがいい。
 - 整備方針によって費用がどれ程掛かるのかなど、メリット・デメリットを具体的に示さないと判断できない。
 - 適正化検討委員会としては、市の公共施設マネジメントの全体の中で今回の整備をどう位置付けるかを示すべきである。

- 概算費用を出し補助金の活用を示した方が、提言もスムーズにいくのではないか。
- 提言を検討する上で概算程度は必要だが、細かすぎると逆に縛られてしまうので、大枠程度の提言が良いのではないか。
- 国スポを契機として補助金で施設を整備したいという考えは当然である。
- 将来的に公共施設マネジメントにおいてプラスになることを示す必要がある。
- 体育館の建替え計画は以前からあったと思うが、国スポまでと国スポ後の将来像を見せる必要がある。
- 体育館を建替える場合は、公式大会が開催できる等、利用価値の高い施設にしてほしい。
- アクアウィングと一体的に利用できるよう配慮が必要である。
- 夜間照明がグラウンドになく、サッカー等の屋外競技も平日夜間は体育館で活動するので体育館が取れない状況に拍車をかけている。
- 長野Uスタジアムだけでは国スポの開催は不可能である。
- 人工芝は有事の際、駐車場などにも利用できる。
- サッカー場を整備する場合、リバーフロントの維持費の変化を示し、公共施設マネジメントの観点から将来的に施設が減っていくことが見えるようにしたいのではないか。
- 駐車場を整備する場合、駐車場の出入口を現在とは違う箇所にする等、国スポ施設だけでなくその周辺の対策も一体として考えてもらいたい。
- 整備する施設に災害拠点としての機能を持たせることも大切であり、有事の際は避難拠点とすることで、将来的にも長く生かせる施設にすることができる。
- バリアフリー、障害者対応、災害対策を担った施設として市民にアピールすることで、理解を得やすくなるのではないか。
- 体育館の建替えの必要性を公共施設マネジメントの視点から整理し進めていければいいのではないか。

【閉 会】